

相手に生きる

学校教育目標 「相手に生きることによって自己を生かす」 西中スタンダード「あいさつ」「歌」「清掃」「花」「服装」「時間」

田毎祭閉幕 虹~1人ひとりの色を大切に~

9月30日(金)、10月1日(土)に、生徒会活動の最大行事である第58回田毎祭が開催されました。新型コロナウイルスの感染症対策の中で、知恵とアイディアを出し合って工夫をしながら、全校生徒が一丸となった2日間でした。

プレ田毎祭 9月20日(火) プチ体育祭

若さがはじけたプチ体育祭。全力で跳び、駆ける姿に大きな拍手が沸き起こりました。





田毎祭1日目 9月30日(金) 開祭式 意見文・総合の発表 生徒会企画(たごりんぴっく)

総合文化部の制作のステージバックのもと、いよいよ田毎祭が開幕。今年のステージ発表では、日頃の学習の成果を発表する機会も復活し、意見発表や総合的な学習の時間の各学年の取組が発表されました。生徒会企画の「たごりんぴっく」では、ダンスに、ボイスパーカッションに、音楽にとそれぞれの個性が表出された発表がありました。コロナ禍の中での新しい文化祭の形が見えてきたように思います。









田毎祭2日目 10月1日(土) 音楽会 吹奏楽部 閉祭式

須坂市立森上小学校長の西澤真一先生を講師に招き、音楽会が開催されました。先生からは、「音楽会そのものがドラマティックだった」とお褒めの言葉をいただきました。さらに、「感情が前面にでているからこそ、息継ぎは早くなりがち。息を吸うタイミングをもう 0.5 秒待てるといい」という次へのステップアップに向けての課題も示していただきました。



マスク越しでも言葉が伝わる歌声にビックリ。日頃からの積み重ねを感じました。

素晴らしい音楽会の雰囲気を作った立役者。 学校のリーダーとなる自覚を感じました。



言葉にするのがどうかなと思うほど、3年 生のプライドが歌声から感じられました。



3年生の最後の舞台。軽快なリズムにのせて、 会場と一体となって音を楽しみました。







様々な制約のある中で、生徒会役員を中心に3年生が、全校の思いが一つになれる企画を考え、それに全校が見事に応えた田毎祭となりました。閉祭式では、全校製作の「折り鶴」による「虹」が表れ、1人ひとりが「虹」のようにそれぞれの色を輝かせることができました。

保護者の皆さん、地域の皆様にも、様々な制約をお願いしたわけですが、ご理解・ご協力を 賜り、無事終えることができました。ありがとうございました。PTAバザーも皆様のご協力 により、無事完売となりました。重ねて感謝申し上げます。